

小竹だより

練馬区立小竹小学校 校長 瀧嶋 克己



平成 30 年 3 月号
No. 521

東京 2020 大会マスコット小学生投票 小竹小では！

校長 瀧嶋 克己



[マスコット候補]

(上がオリンピック、下がパラリンピック)

弥生 3 月、今年は例年になく厳しい寒さが続きましたが、日を追うごとに暖かな春の日差しに変わってきています。

さて、平昌冬季オリンピックでは、日本選手団が冬季最多となる 13 個のメダルを獲得しました。昨年の 11 月に右足首を負傷し、出場も危ぶまれ、どのような滑りをするのだろうかと期待されたフィギュアスケート男子の羽生結弦選手が 66 年ぶりの五輪連覇を果たし、今大会最初の金メダルを日本にもたらしました。

スピードスケート 500m 女子で金メダルに輝いた小平奈緒選手が、競技後ライバルで銀メダルとなった韓国の李相花(イソファ)選手の肩を抱いて言葉をかけるシーンはお互い頂点を目指し、切磋琢磨してきたアスリート同士にしかわからない強い絆を感じました。

冬季オリンピック・パラリンピックが終了しますと 2 年後の東京オリンピック・パラリンピック（以下「東京大会」）も間近に感じられるようになってきます。

東京大会組織委員会では、東京 2020 大会マスコット選定を全国の小学生に呼びかけ、2 月 22 日（木）に締め切りました。

本校でもこの取組に参加し、各学級で話し合い学級ごとに一つマスコットを決定しました。本校の担当者を通じ既にインターネットで投票しています。結果と選んだ主な理由は以下の通りです。

マスコット候補 3 票

- ・日本の発展した交通やおもてなしを表現していると思ったから
- ・桜が日本らしいから

マスコット候補 4 票

- ・日本の活気が感じられるから
- ・日本の四季を表していると感じるから

マスコット候補 5 票

- ・日本の昔話から生まれたマスコットだから
- ・頭の上の葉っぱや勾玉、水引が日本らしいから

2 月 28 日（水）正午頃、東京大会組織委員会が東京 2020 大会マスコットの発表を行います。小竹だよりがご家庭に届く頃には決定しています。東京大会が子供の心に残り、いつまでも語り継がれるものになることを祈っています。